

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和８年度九州管内におけるフェリー・RORO等貨物輸送効率化検討業務				
業務概要	業務名称	業 務 内 容			摘 要
		設 計 仕 様	単位	数量	
	令和８年度九州管内におけるフェリー・RORO 等貨物輸送効率化検討業務				
	九州管内におけるフェリー・RORO 貨物輸送の効率化検討				
	計画準備	計画準備	式	1	4 港
	フェリー・RORO ターミナルの運用状況の把握				
	船社等ヒアリング調査	式	1		
		現地状況の把握（運用実態・設備利用状況等）	式	1	4 港
	フェリー・RORO ターミナルの現況を踏まえた運用効率化にあたっての課題と対策検討				
	フェリー・RORO ターミナル毎の課題と対策の整理	式	1		
	フェリー・RORO ターミナルの運用効率化技術の整理と評価				2 港
	運用効率化技術に関するヒアリング	式	1		
	運用効率化のための各技術の適用性や課題、及び対応策の検討	式	1		
	運用効率化のための各技術の導入費用等の整理	式	1		
	運用効率化のための各技術の導入による効果の評価	式	1		
	フェリー・RORO ターミナルの現況を踏まえた運用効率化技術導入における対策比較表の作成				2 港
	運用効率化技術の導入にあたっての対策比較表の作成	式	1		
	協議・報告				
		事前協議	回	1	
		中間報告	回	1	
		最終報告	回	1	
	九州管内におけるコンテナターミナルの作業効率化検討				
	計画準備	計画準備	式	1	4 港
	コンテナターミナルにおける最新の作業効率化技術に関する資料収集整理		式	1	
	コンテナターミナルの運用状況の把握				
		港運業者等ヒアリング調査	式	1	4 港
		現地状況の把握（運用実態・設備状況等）	式	1	
	コンテナターミナルの現況を踏まえた荷役効率化にあたっての課題と対策検討				4 港
	コンテナターミナル毎の課題と対策の整理	式	1		
	荷役効率化技術の導入による適用性や効果等の評価				4 港
荷役効率化技術に関するヒアリング調査	式	1			
各コンテナターミナルにおける荷役効率化技術の導入にあたっての適用性や課題、及び対応策の検討	式	1			
荷役効率化技術の導入費用の整理	式	1			
荷役効率化技術の導入効果の評価	式	1			
コンテナターミナルの現況を踏まえた荷役効率化技術導入における比較表の作成				4 港	
荷役効率化技術の導入にあたっての対策比較表の作成	式	1			
協議・報告					
	中間報告	回	2		
成果品	業務完成図書作成	式	1		

契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官九州地方整備局副局長 久田 成昭 福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和8年7月8日
契約業者名	令和8年度九州管内におけるフェリー・RORO等貨物輸送効率化検討業務WAVE・PCKK設計共同体
契約業者の住所	東京都港区虎ノ門三丁目1番10号
契約金額（税込）	¥43,120,000
予定価格（税込）	¥43,120,000
随意契約によることとした理由	本業務は、各ターミナルの現況把握に加え、運用効率化に向けた課題抽出、対応策の検討、さらには費用対効果の整理を行うことで、関係者が客観的な根拠に基づき検討を実施できるよう支援するものである。また、港湾関連労働力の不足が顕在化する中で、ターミナルオペレーションの効率化は喫緊の課題であり、荷役効率化技術の導入可能性の検討を含めた高度な分析が求められることから、豊富な経験と高度な知識を要するため、受注業者に対しては、1. 配置予定技術者の経験及び能力（技術者資格、業務執行技術力等）、2. 業務実施方針（業務理解度、業務実施手順等）、3. 特定テーマに対する技術提案（的確性、実現性）等の観点からプロポーザルの提出を求めたものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、WAVE・PCKK設計共同体が最適であると判断されることから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものとする。
業務場所	発注者指定の場所
業種区分	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和8年7月8日
履行期間（至）	令和9年2月26日
備考	